

まぼろしの詩 あしたの詩



長崎 杉本 枝
Shigemu Saito

日本作詩家協会年刊詩謡集

1982年版

序 文

石 本 美由起

「参加作品が三百篇を越えたら、乾盃しよう」……と、
思っていたのですが、楽々と、三百の峠を越えました。
うれしいことです。感激です。

おなじみの顔、久しぶりの顔、はじめての顔、「年刊詩謡
集」という歌の広場に、みんなの顔が揃いました。

それぞれの作品に、それぞれの感銘があります。

うれしいときには、うれしい顔をして乾盃をしましょう。

詩謡集に乾盃、友情に乾盃、明日への飛躍を目指して乾

盃……………

いま、私のところは、夢いっぱい青空です。

(日本作詩家協会理事長)

もくじ 〔タイトル五十音順〕

序	文	石本	美由起	一
あ、須沢城	桜本	繁	六	
ああ戦友よ	梅田	幸三	元	
あ、旅ごころ	田村	和男	三	
あ、満洲引揚行	菊地	英夫	三	
愛……うえお	仲村	忍	三	
匕首エレジイ	石田	龍平	三	
哀愁酒場	伊丹	将人	三	
逢ぞめ三味線	たなか	ゆきを	三	
逢いたくないわ	あかはた	元康	三	
あいつのくつ	湯浅	としあき	三	
愛のうず潮	高野	礼子	三	
愛の傘	宇佐見	良好	元	
愛ひとつ夢ひとつ	秋田	泰治	三	
愛はすれちがい	眇田	栄一	三	
逢えてよかった	荻原	秀夫	三	
青野川ブルース	池上	信	三	
秋風の女	松平	史紀	三	
浅草人情	近藤	しげる	三	

あざみかなしや……………	帯谷	瑛之介……………	三
足止め酒場……………	息吹	詩郎……………	七
後追い連絡船……………	黒白	ミノル……………	六
あなたは恋の未熟児よ……………	荒木	良治……………	六
あの娘はとおい……………	細川	雄太郎……………	四
あの町の春……………	高坂	のぼる……………	四
あぶない花時……………	中島	清一……………	四
雨……………	松生	静……………	四
雨の大坂……………	鈴木	夜詩夫……………	四
雨のジャンジャン街……………	青木	三郎……………	四
雨のつぶやき……………	植田	竹雄……………	四
雨の中の妹……………	関沢	新一……………	四
雨降る夜更けの子守歌……………	中村	葭一……………	四
荒川線三ノ輪橋……………	志摩	勝也……………	四
有馬おんな坂……………	小谷	健一……………	五
あんたに惚れたら……………	田村	忠雄……………	五
あん畜生のブルース……………	大坂	秀次郎……………	五
幾春別エレジ―……………	虹	厚一……………	五
いっしょに暮らそう……………	折戸	勝史……………	五
伊豆の踊子……………	甲斐	新……………	五
今 さ ら……………	おおやぶ	直子……………	五
今も変らず……………	にし	二郎……………	五
上野下町なみだ町……………	宇都木	正次……………	五
浮草だより……………	小島	高志……………	五

浮草なみだ	おいだ	みのと	㊦
薄曇りの空の下	筑紫	みなも	㊦
うなずけば涙	伴在	主計	㊦
海ねこが鳴く町	すぎき	こういち	㊦
海辺のビーナス	大野	卓	㊦
熟れすぎた恋	北村	直之	㊦
浮気じゃ駄目よ	仁礼	美智雄	㊦
噂のジョージ	池田	博	㊦
笑顔でひとことありがとう	渡辺	和於	㊦
駅	横山	光夫	㊦
SLもう一度	宮田	隆	㊦
オーイ故郷	夏	洋	㊦
お遊び向きの女	鮎川	公正	㊦
隠岐の女	山田	世津夫	㊦
奥秩父山唄	栃窪	千泉	㊦
おけさ恋唄	愛川	あい	㊦
教えて下さい	大屋	哲夫	㊦
おし	小林	すみ江	㊦
於大恋唄	滝田	常晴	㊦
落葉のように	春日	利水	㊦
男なりやこそ	山門	芳馨	㊦
男の掟	玉利	要	㊦
男の日記	高橋	直人	㊦
男の年輪	荒木	忠雄	㊦

男の風雪……………	千葉	幸雄……………	八
男の道……………	渡辺	治……………	八
男のワルツ……………	みずの	稔……………	八
おとこ富士……………	飯塚	義美……………	八
おなじみ酒場……………	本多	祈美男……………	八
帯祭の街……………	水野	甚太郎……………	八
おふくろさんと云う酒場……………	白井	ひさし……………	八
おまえと俺のオホーツク……………	里村	龍一……………	八
思いつめるなよ……………	伊子	圭相……………	八
想い出小雪……………	茂田井	幸次……………	八
おもかげ酒場……………	星合	節子……………	八
親ごころ……………	石本	美由起……………	八
父子酒……………	秋本	敦……………	八
おやじに贈る詩……………	田口	もりを……………	八
おやじの叱言……………	なかにし	あきら……………	八
女ごころ……………	山田	博康……………	九
女ごころの空港……………	ニアガキ	しげき……………	二〇〇
おんなのコップ酒……………	山岸	達児……………	二〇一
女の一生……………	横井	弘……………	二〇二
女のこよみ……………	佐波川	純……………	二〇三
女の盃……………	小野	津加佐……………	二〇四
おんな野ざらし……………	多岐川	昌史……………	二〇五
女のタバコ……………	三宅	立美……………	二〇六
女のひと間……………	外松	たつ雄……………	二〇七

おんなな舟	橋本守正	二〇六
女のみれん	飛田正治	二〇九
女はかもめ	鈴木昭一	二一〇
母さんの涙	松本摂子	二一一
懐古・江戸姿	若山かほる	二一二
馳けだせばまだ	宴ゆり	二二三
過失	司式玉繪	二二四
風	広瀬嘉三	二二五
化石の街	剣あざみ	二二六
片翼飛行	石田みよこ	二二七
悲しい女の夜の唄	鈴木哲郎	二二八
鎌倉日記・春の巻	星秀和	二二九
樺太想えば	高取武	二三〇
可愛い女	中山二夫	二三三
川尻岬	磯邊貝	二三三
関東しぐれ	佐藤英明	二三三
木更津ブルース	益田清	二三四
木曾路独り	持田三郎	二三五
ギターの糸	おだみつ	二三六
北風・海猫・噂町	のま・たくま	二三七
北国みれん	工藤りつお	二三八
北航路	飛鳥井芳朗	二三八
北航路	大橋哲郎	二四〇
北宗谷慕情	小川淳	二四三

北の悲歌	増子	善典	一三
衣ずれの女	川西	美智子	一三
君恋酒場	河野	充伸	一三
きみまち坂	木村	賢司	一五
京都悲歌	相馬	詩彦	一六
京都おんな町	高田	ゆきお	一七
京都木屋町ころ町	札	恭司	一八
京は友禅模様	有加利	淳	一九
くすの木音頭	南里	暁生	二〇
苦節三代	白水	かおる	二〇
苦劳かけたね	沼川	淳	二二
苦劳花	山中	しげる	二三
KOBE・ひとり	斉藤	卓	二四
恋切り出船	村上	文恵	二四
恋盛り	斉藤	清吉	二四
恋詩抄	松本	好弘	二七
恋のNG	東	ひろし	二八
恋のギブアップ	鳥羽	貞子	二九
恋の西海橋	山本	恵三子	二九
恋の墓標	砂見	爽	二九
恋平野	松井	由利夫	二九
恋はあぶない綱わたり	米沢	誠造	二九
恋は一筋	淡島	千佳夫	二九
ここは港町	さかき	じゅん	二九

古城にひとり……………	中野	惣太郎……………	一五
コスモスのころ……………	石井	吉明……………	一五
午前零時の女……………	表	八千代……………	一五
古 都……………	有吉	まこと……………	一五
子供がいいな……………	篠原	順子……………	一六
粉 雪 の 町……………	詩	和 峯……………	一六
これもお酒が悪いから……………	神山	清志……………	一六
ゴロゴロゴルフ……………	榎本	克彦……………	一六
今夜も待つのに……………	佐東	たどる……………	一六
最果て望郷酒場……………	かわうち	登……………	一六
酒 唄……………	木未野	奈……………	一六
酒場より愛をこめて……………	中山	大三郎……………	一六
さ行・さいご酒……………	いたくらひろゆき……………		一六
酒で心を温めて……………	山本	哲生……………	一六
さすらいの詩人……………	松尾	ゆきお……………	一七
運 命 花……………	難波	淑詩……………	一七
里 の み ち……………	峰	よしを……………	一七
さよならの前にもう一度……………	美貴	ひろこ……………	一七
さよならは春まで待ってね……………	青柳	テル……………	一七
残 波 岬……………	平野	ひろし……………	一七
幸せさがし……………	真樹	亜矢……………	一七
しあわせは愛が好き……………	泉	淳三……………	一七
信濃路にて……………	大月	流……………	一七
十三 哀詩……………	藤田	鶴之丞……………	一七

終電車……………	高島	諄子……………	一八〇
シルクロードより哀しみをこめて……………	いしい	まは……………	一八一
シルクロード・ラブ……………	対馬	慎一郎……………	一八二
信じていたの……………	しぶや	さだみち……………	一八三
新宿おんな鳥……………	紺野	ただし……………	一八四
新宿で逢わないか……………	栗沢	涼……………	一八五
新宿・ブルーな街なんだね……………	五分木	敦美……………	一八六
人生祝い酒……………	平川	正義……………	一八七
人生岬……………	高上	あゆむ……………	一八八
新鉄道唱歌(抄)……………	井田	誠一……………	一八九
酔蝶花……………	那須野	巖……………	一九〇
隅田川哀愁……………	道山	直樹……………	一九一
青春の門 信介と織江の唄……………	傳	祖恭……………	一九二
青春ハイウェイ……………	浦田	常治……………	一九三
背 中……………	中野	芙美世……………	一九四
セブンティーンラブ……………	折井	一光……………	一九五
千姫 撩乱……………	中川	連……………	一九六
卒業しないままに……………	山上	路夫……………	一九七
相聞―狭野弟上娘子のうたえる―……………	西沢	爽……………	一九八
そばの花のように……………	小林	金次郎……………	一九九
それだけでい……………	市川	武志……………	二〇〇
それでもTOKYO……………	有田	多賀子……………	二〇一
たかが人生……………	園田	一俊……………	二〇三
高山旅情……………	平山	忠夫……………	二〇四

谷間の村に愛の巢を……………	戸枝	ひろし……………	三〇五
煙草唱歌……………	星野	哲郎……………	三〇六
ためいき太宰府……………	ごとう	しんぞう……………	三〇七
誰もロンリ……………	みやけ	知絵……………	三〇八
誰 <small>たれ</small> 故草 <small>ゆえ</small> の歌……………	津田	辰臣……………	三〇九
誰よりあなたに泣きました……………	室屋	安美……………	三一〇
丹後路一人……………	愛	行子……………	三一一
虫媒花……………	大森	富士子……………	三一二
津軽三味線・放浪記……………	木立	雄幸……………	三一三
津軽ネンネコ哀話……………	畑	美式……………	三一四
つぶやき……………	松崎	暎子……………	三一五
積木のもろさ……………	岐多川	純……………	三一六
低気圧の夜……………	小高	つた子……………	三一七
天売 <small>てうり</small> の船唄……………	渡辺	千楨……………	三一八
天化の回想……………	込山	為安……………	三一九
陶工一代……………	やまだ	りゅう……………	三二〇
凍夜……………	杉山	英香……………	三二一
友よ……………	倉島	雅三……………	三二三
とんでもないわ……………	小高	勝義……………	三二三
長い春……………	佐藤	正美……………	三二四
流し雛恋唄……………	古頃	正章……………	三二五
流れ蝶……………	夢	虹二……………	三二六
夏が来れば思い出す……………	田中	凡夫……………	三二七
なみだ酒……………	岡田	溜美……………	三二八

泪の厚化粧	浅野	哲秋	三九
涙のセレナーデ	村田	安広	三〇
涙のワルツ	紫野	ゆき	三一
涙 みち	木谷	鴻治	三三
西へ流れる	ふかまち	じゅん	三三
ネオンに生きる	はぜやま	清美	三四
飲んべえのふるさと	北条	新太	三五
博多で待ちます	本間	繁義	三六
バカな女です	矢真田	真沙恵	三七
薄情夜汽車	鎌田	勝	三八
バクという女	水上	幸子	三九
はぐれ鳥	田中	キヨ	四〇
初恋の川	山口	純	四一
花 菖蒲	古神子	民雄	四二
花どろぼう	広樹	ゆきわ	四三
花の忘年会	成瀬	左千夫	四四
花 未練	海老沢	孝一	四五
花嫁になる日を	岡本	和子	四六
花嫁立候補	岩崎	吉太郎	四七
はなれごぜ恋唄	おち	としこ	四八
花は黙って咲いている	中村	要子	四九
母は信じてる	上野	たけし	五〇
遙なる慕情	梅森	祐治	五一
日陰の花でも	広里	多美	五二

望郷の詩	望郷	ふんどしかつぎ	ふるさとが消えた	ふりむけば青春	芙蓉恋唄	冬の風鈴	冬のひまわり	ふみ子曼陀羅	船のり妻	ふたりの人生	ふたりの新宿	ふしあわせ	ピンクの星	悲恋の岬	美唄流離	ひとりハイウェイ	一人の貴男と私	ひとりギターを	人吉慕情	翡翠の涙壺	彼岸花
高畑	大竹	佐々木	柴田	江口	北井	江島	下野	玉木	貫井	豊原	西	沢	角海	しのだ	池田	今泉	忍	石川	松永	若林	英
和之	ゆきをを	安伸	よしかず	洗慧	あゆ	景子	登美子	一史	昭五	史丈	順子	ひろし	夜詩次	さだよし	充男	町子	一步生	泰久	夏女	澄人	玲二
二七六	二七五	二七四	二七三	二七二	二七一	二七〇	二六九	二六八	二六七	二六六	二六五	二六四	二六三	二六二	二六一	二六〇	二五九	二五八	二五七	二五六	二五五

望郷の湖	山上	雅人	二七
望郷未練	日下野	天星	二七
望郷病 <small>シツ</small>	吉田	旺	二八
僕はそう思うことにした	越野	みのる	二八
慕情よ永遠に	南	由紀	二八
ポッケのハンカチ	わたべ	まちこ	二九
炎のサンバ	富山	紫峰	二九
ほろ酔いばなし	塚谷	清一	二九
舞	佐久間	常夫	二九
都会	河井	哲治	二九
待ちぼうけ列車	土屋	紅	二九
待ってろよ	鈴木	きよ	二九
窓	風見	瑛子	二九
ママの編みこみ模様	板倉	文子	二九
マリー・ローランサンの 少女を探す旅のさ	ふくだ	みのる	二九
マリーンステージ	能勢	英男	二九
みじかい愛	あかい	蘭	二九
みちのく情話	海野	政一	二九
みちゆき	門井	八郎	二九
美奈子という女	仙野	いちを	二九
港歌	倉持	あきを	二九
未練でしょうか	はやし	しげる	二九
明星峠	原川	ときわ	二九

皆で泣いた	谷田	草路	三〇一
無宿の墓場	みずき	くさを	三〇二
息子の恋人	大溝	玲子	三〇三
娘ごころ	文月	豊	三〇四
夫 婦 草	三谷	勉	三〇五
夫 婦 坂	岐多川	純	三〇六
夫 婦 星	玄	詩朗	三〇七
モンパルナスの雨	おだ	みさを	三〇八
山へ登れないあいつ	西川	孝雄	三〇九
山鳩の里	平井	健一	三一〇
山 み ち	江橋	富子	三一
やもめぐらし	佐藤	進	三二
やりなおし	志賀	大介	三三
遊都美夜・トーキョー	岩崎	美知夫	三四
夕風のセレモニー	竹内	きよと	三五
夕映えのその中に	新保	治平	三六
雪 国 悲 恋	轟	路也	三七
雪のとけるまで	小林	すみ子	三八
雪降る季節	真弓田	幸一	三九
湯 島 慕 情	のたき	ひであき	四〇
湯の町恋あかり	長谷川	洋	四二
湯の町流れ花	くぼた	ぼく	四三
ゆみ子は芯から女です	諸我	聴一	四三
夢 は し ご	藤森	宮子	四四

許してくれるかい……………	クボタ	ハチゾウ……………	三五
許して水子……………	大澤	陽央……………	三六
宵待草の宿……………	佐藤	秀千代……………	三七
夜の彷徨 <small>さまよう</small> ……………	新谷	政浩……………	三八
夜の鳴門海峡……………	熊谷	孝雄……………	三九
夜の迷子のカクレンボ……………	こばやし	克至……………	四〇
流氷岬……………	宇山	清太郎……………	四一
わたし今日から……………	浜	実……………	四二
私の隣りに坐る人……………	荒川	利夫……………	四三
別れ酒……………	やま	一男……………	四四
別れのエピソード……………	松本	敦央……………	四五
別れの嘆き……………	芝山	和子……………	四六
別れられそうもない……………	鈴木	幸子……………	四七
表紙のことば……………	斎藤	茂……………	四八

題字 西沢 爽

表紙 斎藤 茂

(長崎オランダ坂)